

令和4年度 たつの市商工会「経営発達支援計画」事業評価報告書

事業評価委員会開催日:令和5年6月12日(月)

指針別項目・事業		数値目標	実施結果	委員長評価	事業補足説明及び委員コメント(抜粋)
I. 経営発達支援事業の内容					
1. 経済動向調査に関すること		令和4年度 目標 実績		A	【補足説明】令和2年度より調査対象事業所を50社以上に増やし、たつの市事業所のDI値の精度向上を図っている。 【コメント】目標を達成されており、十分な実績が確認できた。調査結果は、可能な範囲で経営支援にも活用して頂きたい。
経済を取り巻く環境の他、地域の経済動向に関する情報を定期的に提供することで事業計画の策定など経営の発達に役立てる。	分析回数	4	4		
	ウェブページによる分析結果の公開	4	4		
	会報等による調査結果の提供回数	4	4		
2. 経営状況の分析に関すること		令和4年度 目標 実績		A	【補足説明】小規模事業者持続化補助金、事業再構築補助金、新事業展開応援事業費補助金の申請については毎年一定の申請があり、各事業所においては売上アップや販路開拓に大きな効果が示している。コロナ禍による社会活動や生活様式の変化などに対応する新たな取り組みを目指す補助金の申請支援を行った。創業については、たつの市の創業補助金の申請を4件行い、それに伴う創業計画書の作成を支援した。 【コメント】殆ど目標を達成出来ている為、この点を評価した。各補助金や支援制度を満遍なく支援されており、他の商工会の模範となる取組みである。
小規模事業者の経営実態の把握及び経営資源や強み等の分析を行うことにより、効果的な事業計画の策定支援につなげる。	巡回相談件数	250	232		
	窓口相談件数	150	171		
	セミナー開催回数	4	6		
	セミナー参加事業者数	45	49		
経営分析件数	35	40			
3. 事業計画策定支援に関すること		令和4年度 目標 実績		B	【補足説明】新型コロナウイルス感染防止に配慮しつつ、事業計画作成、事業承継については、個別相談会の形式で実施した。創業・第2創業セミナーは、多くの受講者があり、小売業や飲食業、教育関係など多種多様な創業予定があり、班別ディスカッションでは活発な意見交換がなされ、創業に向けた第1歩を踏み出す事が出来た。経営計画作成個別相談会では、ウィズコロナ・アフターコロナに対応した新たな取り組みとして新事業展開の相談、各種補助金申請に関する相談があった。販路開拓については、Googleビジネスプロフィール活用の講義をおこなった。事業承継個別相談会では、事業承継を契機とした新たな事業展開を目指す計画策定の相談や、事業を承継するため具体的な事務手続きの相談があった。 【コメント】創業セミナーは、例年1月～2月に開催されている為、開催時期の面で他の支援機関と差別化が出来ている。その為、たつの市以外からの受講者も散見されており、特定創業への高いニーズが見受けられる。
小規模事業者の経営課題を解決するために伴走型の指導・助言を行い、事業計画の策定支援を実施する。	事業計画作成セミナー(開催回数)	1	5		
	参加事業所数	25	22		
	事業計画策定件数	20	16		
	経営革新計画策定件数	3	0		
	創業・第2創業セミナー(開催回数)	1	1		
	参加事業所数	10	31		
	創業等計画策定件数	5	16		
	事業承継セミナー(開催回数)	1	1		
	参加事業所数	10	3		
	事業承継計画策定件数	5	3		
販路開拓計画策定件数	2	2			
4. 事業計画策定後の実施支援に関すること		令和4年度 目標 実績		B	【補足説明】各補助金申請時に作成した事業計画書の遂行につき、伴走して支援した。必要に応じて事業計画に修正を加え、次の展開についてのアドバイスを行った。下記項目以外についても、全会員への巡回時に要望のあった個別事項につき、フォローアップを行った。専門家派遣は、11事業所に対し、計23回実施した。 【コメント】各補助金の計画期間内は、認定支援機関が支援することになっている為、事業の実施状況はフォローする必要がある。また、持続化補助金では、様式第14「小規模事業者持続化補助金に係る事業効果及び資金引上げ等状況報告書」の提出を行っていない場合、過去採択した日から本補助金の受付締切日までに60か月以上経過していなければ、補助対象者とならないので、この点は特に注意が必要である。
小規模事業者が立案した事業計画について、必要に応じて専門家や他の支援機関と連携を図り課題解決に努め、計画推進達成のための経営支援を行う。	事業計画策定事業所フォローアップ数	20	16		
	経営革新計画策定事業所フォローアップ数	3	0		
	事業承継計画策定事業所フォローアップ数	5	3		
	創業等計画策定事業所フォローアップ数	5	4		
販路開拓計画策定事業所フォローアップ数	2	13			
5. 需要動向調査に関すること		令和4年度 目標 実績		A	【補足説明】当初の計画では、令和2、3年度については、御津町新舞子沿岸地域の観光、サービス業者の需要動向につき調査及び情報の提供を実施する予定であったが、令和2年3月以降新型コロナウイルス感染症の影響拡大を考慮し、全会員の経営状況の把握とサポートの必要性が高まったため、全会員巡回による「会員アンケート」を実施した。巡回時には、各補助金制度のPRを行った。 【コメント】目標を大きく上回っており、他の商工会にとっても模範となる取組みである。その為、たつの市商工会以外の職員とも、アンケートの収集方法については共有して頂きたい。
小規模事業者が取り扱う商品や製品及びサービスにかかる需要の動向に関する情報・ニーズ等を個社毎に調査・分析し提供することで、事業計画の策定や新商品の開発に活かす。	全会員アンケート調査				
	支援する個社数	15	725		
全会員を巡回してアンケートを実施	100	269			
6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること		令和4年度 目標 実績		B	【補足説明】物産展等の開催情報を商工会ウェブページで発信し、速やかに情報提供するとともに、催しの内容により事業所を選定し、個別に情報の提供を行った。またITを活用して販路開拓に繋げる。販路開拓セミナーを開催した。 【コメント】ITの活用やDXなどのセミナーについては、他の支援機関でも工夫を凝らしている。近隣では、赤穂商工会議所が販促実践講座「スマホで始める集客術」を開催しており、創業セミナーの受講者を誘導することで、一定の集客に繋がっているため、参考にして頂きたい。
商談会、展示会などの商談機会の情報を提供するとともに、商談の成立確立を高める体制を整える。併せてネット販売などITを活用した販路開拓支援を行う。	商談会、展示会等への出展支援者数(BtoB)	4	6		
	商談成立件数	4	4		
	売上増加事業所数				
	物産展における出展支援者数(BtoC)	目標	実績		
	売上金(1社当たり)	10万円	0万円		
IT活用セミナー(BtoC)	目標	実績			
ITセミナー開催回数	1	1			
参加事業所数	20	17			
II. 地域経済の活性化に資する取り組み					
1. 地域資源を活用した地域活性化事業		令和4年度 目標 実績		B	【補足説明】平成29年度から取り組んだ、エイ、大根を使用した特産品の開発で、それぞれ完成した商品については会員事業所からの販売が開始され、一定の成果を上げた。令和3年度以降は、会員事業所に承継されたそれぞれの商品の販路拡大につき、個別に支援しており、商工会として新たな商品の開発は行っていない。 【コメント】試作品については、新たなアイデアを探究することが必要な段階に来ている。新商品を開発する場合、ニーズ発想とシーズ(技術)発想の2つがあるが、日々会員事業所と接する中で、シーズ(技術)に着目し商工会として試作品開発を支援できるものがないかを探して頂きたい。
地域独自の特産品を開発することで地域の活性化を支援する。	試作品の作成	2	0		
	試作品の商品化	1	0		
	販路開拓支援	4	4		
2. 地域イベントを活用した地域活性化事業		令和4年度 目標 実績		C	【補足説明】地域資源を活用した特産品の調査及び販路開拓、地元住民の交流の場の創出や地域の商工業者が市内外に積極的にPRする広報支援策として、地域活性化事業として「たつの市商工業まつり」を実施する予定であったが、令和2年度からの新型コロナウイルス感染症の影響や諸般の事情により、開催には至らなかった。代替イベントとして、観光協会揖保川支部主催のウィンテージカー&旧車の展示in「いぼがわ」に協力した。 【コメント】コロナ禍でイベントが中止になるのはやむを得ない。その上で、代替イベントに協力されている点を考慮して評価した。
イベントを通して商工業、観光事業の支援に結び付ける。	たつの市商工業まつり	目標	実績		
	開催回数	1	中止		
	出展者数	47	-		
	来場者数	6,200	-		
開発特産品の出品数	7	-			
III. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取り組み					
1. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること				A	他の支援機関とは積極的に連携されており、この点を評価した。
2. 経営指導員等の資質向上に関すること				A	経営指導員の資質向上にも注力されており、一定の実績が確認出来る点を評価した。
3. 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること(委員長による総括評価)				B	幅広いエリアを少ない人員でカバーされている点は、率直に評価したい。また、手厚い経営支援を実施されており、若手職員の成長も確認出来た1年間であった。特に、若手職員に対しては、西播磨以外の地域の商工会職員とも接点を持てるようになりたい。

委員：中小企業診断士・荒木慎吾氏(委員長) / たつの市産業部商工振興課 安積 徹氏 / 日本政策金融公庫姫路支店長 佐藤 文昭氏 / 播州信用金庫揖保川支店長 小池 学 氏